

**成蹊大学 アジア太平洋研究センター主催 講演会**  
**「円の実力：1ドル100円時代は再び訪れるのか？」を開催**

成蹊大学（東京都武蔵野市、学長：森雄一）は、2024年7月27日（土）に成蹊大学アジア太平洋研究センター主催講演会「円の実力：1ドル100円時代は再び訪れるのか？」を開催いたします。

歴史的な円安の進行により、日本円の実質価値は、1970年代の水準にまで低下していると言われていす。この結果、日本の輸出企業の株価が上昇し、日経平均株価は4万円を超える高値まで上昇、反面、輸入品の価格上昇も続いています。円は再び1ドル100円まで上昇し、かつての価値を取り戻すことができるのか、そして、1ドル150円は、実際のところ、国際的に見てどの程度の実力であるのかを、国内外の有識者が講演します。概要は以下の通りです。

□■開催日時□■

2024年7月27日(土)13:30～15:00（開場 13:00）

□■会場・定員□■

成蹊大学 6号館 401 教室

300名（当日先着順／申込不要） ※直接会場にお越しください。

□■出演者□■（敬称略・登壇順）

（基調講演）佐藤 清隆：横浜国立大学教授

（講演）チェ・ジンホ：AMRO（Asean+3 Macroeconomic Research Office） 主席エコノミスト

（講演）立石 宗一郎：日本総合研究所研究員

（司会）永野 護：成蹊大学経済学部教授／アジア太平洋研究センター所長／成蹊大学リーディングリサーチャー

プロフィール等詳細は公式ウェブサイト（<https://www.seikei.ac.jp/university/caps/>）をご参照ください。

【資格】どなたでもご参加いただけます。

【主催】アジア太平洋研究センター

本件に関する報道機関からのお問合せ先  
成蹊学園 企画室 広報グループ

TEL.0422-37-3517 FAX.0422-37-3704 E-mail.koho@jim.seikei.ac.jp

## 成蹊大学アジア太平洋研究センター主催講演会

## 円の實力

1ドル100円時代は  
再び訪れるのか？参加無料  
定員300名  
|申込不要|

2024

7/27 土

13:30-15:00 [開場13:00]

成蹊大学6号館401教室

歴史的な円安の進行により、日本円の實質価値は、1970年代の水準にまで低下していると言われてしています。この結果、日本の輸出企業の株価が上昇し、日経平均株価は4万円を超える高値まで上昇、反面、輸入品の価格上昇も続いています。円は再び1ドル100円まで上昇し、かつての価値を取り戻すことができるのか、そして、1ドル150円は、実際のところ、国際的に見てどの程度の実力であるのかを、国内外の有識者が講演します。

イベント詳細は  
CAPS公式ウェブサイトを  
ご覧ください。

<https://www.seikei.ac.jp/university/caps/>



## ◆プログラム◆

開会挨拶・研究所紹介

## 基調講演

「円の實力：為替変動と日本企業の通貨戦略」

佐藤 清隆 氏



横浜国立大学国際社会科学研究院教授、東京大学経済学博士、2019年度・第62回「日経・経済図書文化賞」受賞、近著に『円の實力：為替変動と日本企業の通貨戦略』（慶應義塾大学出版会、2023年）

## 講演

※使用言語:英語（通訳あり）

「日本経済の現状から見る円安要因（仮題）」

チェ・ジンホ 氏



AMRO(Asean+3 Macroeconomic Research Office) 主席エコノミスト、インディアナ大学経済学博士、国際機関AMROにおいて「2022年日本経済サーベイランス・レポート」執筆責任者を務める。

## 講演

「ドル円相場展望～日米経済の動向と燃る円安リスク～」

立石 宗一郎 氏



㈱日本総合研究所マクロ経済研究センター研究員  
近著に「為替需給面の変化が円高を抑制」（『リサーチ・アイ』No.2024-0004）他

質疑応答・アンケート・閉会挨拶

【司会】 成蹊大学経済学部教授・アジア太平洋研究センター所長  
成蹊大学リーディングリサーチャー  
永野 護